



平成27年度 学校だより 平成28年3月18日発行  
よく考える子 笑顔であいさつする子 約束を守る子 体をきたえる子

発行者 京都市立大宅小学校 校長 藤村 徹  
〒607-8178 京都市山科区大宅五反畑町69の2  
TEL(075)91-0015 URL: <http://www.edu.city.kyoto.jp/http://oyake/>  
FAX(075)91-0096 E-mail: [oyake-s@edu.city.kyoto.jp](mailto:oyake-s@edu.city.kyoto.jp)

## ～学校評価後期の報告～

### 教職員自己評価

A・・・よくできている B・・・おおむねできている  
C・・・あまりできていない D・・・できていない

人権	「笑顔であいさつする子」		A	B	C	D (%)
	笑顔であいさつする取組はできていますか？	前期	53%	47%	0%	0%
		後期	38%	62%	0%	0%
	子どもが友達の良いところや、がんばりを認めようとする態度を育てていますか？	前期	54%	43%	3%	0%
		後期	35%	63%	2%	0%
	子どものよいところを見つけて、ほめていますか？	前期	52%	45%	3%	0%
		後期	40%	58%	2%	0%

健康	「体をきたえる子」		A	B	C	D (%)
	体育の授業で、子どもの運動量の確保ができていますか？	前期	62%	38%	0%	0%
		後期	56%	44%	0%	0%
	休み時間に外で遊ぶように働きかけていますか？	前期	48%	48%	4%	0%
		後期	61%	36%	3%	0%
	生活向上を目指した健康目標の取組はできていますか？	前期	62%	38%	0%	0%
		後期	60%	40%	0%	0%
	食生活の向上を目指した取組はできていますか？	前期	50%	50%	0%	0%
		後期	43%	57%	0%	0%

生徒指導	「約束を守る子」		A	B	C	D (%)
	子どもが楽しくすごせる学級作りができていますか？	前期	43%	52%	5%	0%
		後期	41%	52%	7%	0%
	チャイムと共に授業を始めていますか？	前期	64%	32%	4%	0%
		後期	54%	46%	0%	0%
	やわらかい言葉づかいができるように、子どもたちの会話に気を付け、言い直しをさせていますか？	前期	58%	38%	4%	0%
		後期	30%	68%	2%	0%

研究	「よく考える子」		A	B	C	D (%)
	子どもが活躍する授業をしていますか？	前期	43%	53%	4%	0%
		後期	30%	70%	0%	0%
	屋読書や図書室を活用し、本好きの子どもを育てていますか？	前期	70%	25%	5%	0%
		後期	52%	42%	0%	0%
	家庭学習が継続的にできるように、適切な課題(計算・漢字・音読など)を与えていますか？	前期	70%	30%	0%	0%
		後期	61%	39%	0%	0%

### ～学校評価の考察～

・「あいさつ」の項目で86%の児童ができていますと答えており、前期よりもよい結果となった。教職員・児童会・PTAによる毎朝の両校門でのあいさつ運動や、地域の方の声かけ、毎日の見守り活動の成果であると考えられる。  
・「ほめる」の項目で保護者による外部評価において良い結果が出た。しかし、「学校でほめられている」と答えた児童の割合に大きな変化は見られない。今後も「ほめて育てる」を意識して取り組んでいく。  
・「朝ごはん」「ベル着」では、ほとんどの児童ができていますと答えている。  
・「早く寝る」「早く起きる」「集団登校に遅れずに行っている」の項目ではできていない割合が低下した。気温の低下等も関係しているが、高学年になるほどできていない児童の割合が増える傾向にある。生活点検表(元気アップカード)を使って個別に指導していく。  
・「やわらかな言葉づかい」の項目では保護者、児童ともに改善が見られた。さん・くんづけを徹底する、呼び捨てがあつたら言い直しをするなどの取組の他、やわらかな言葉づかいがなぜ大切であるのかも繰り返し伝えていきたい。  
・「楽しんで学校に行っている」「学級が楽しい」の項目では改善が見られた。一人一人を大切にする取り組みを今後も進めていく。  
・「読書」に関しては、前期に続きよい結果が出ている。選書会の開催や、図書室の本の充実、図書館運営支援員による読み聞かせ、読書タイム及び図書館の有効活用などの取組の成果であると考えられる。山科図書館と連携した取組(アニメーション、ブックトーク、等)も子どもたちの読書への意欲を高めている。  
・「自分から進んで家庭学習をする」の項目でよい結果が出た。自主学習に意欲的に取り組む児童の姿も多く見られるようになった。  
・教職員自己評価では「A」評価が低下した。1年間の児童を通して様々な課題が見えてきた結果ではないかと考えられる。

### ～学校運営協議会・学校評議員会より～

・早寝、早起きの時間の把握だけではなく、実際の睡眠時間の調査も必要だ。  
・気持ちのよい挨拶ができる児童が増えてきた。「あいさつができる」は100%を目指していきたい。  
・学級が楽しくないと感じている児童への取組に重点を置かないといけない。  
・冬場になると遅れる児童は多くなるが、1年間を通してみると遅れる児童は以前と比べてかなり減っている。このまま減らしていきたい。  
・今後も地域と学校が一緒になって児童の教育を進めていく。

### 保護者による外部評価

A・・・そう思う B・・・だいたいそう思う  
C・・・あまりそう思わない D・・・そう思わない

		前期	後期
すすんであいさつをする	A	22%	23%
	B	48%	47%
	C	27%	27%
	D	3%	3%
学校での様子を話す	A	34%	36%
	B	45%	46%
	C	20%	17%
	D	1%	1%
お子さんのよいところを見つけ、ほめている	A	23%	27%
	B	57%	57%
	C	19%	15%
	D	1%	1%
休まず学校に行っている	A	83%	80%
	B	16%	18%
	C	0%	1%
	D	1%	1%
早く寝ている ※21時(低学年)21時半(中学年)22時(高学年)	A	29%	30%
	B	29%	26%
	C	27%	30%
	D	15%	14%
早く起きている ※朝7時までに起きる	A	51%	40%
	B	26%	31%
	C	17%	20%
	D	6%	9%
毎日、朝ごはんを食べている	A	86%	82%
	B	11%	13%
	C	2%	4%
	D	1%	1%
楽しんで学校に行っている	A	55%	61%
	B	41%	34%
	C	3%	4%
	D	1%	1%
集団登校に遅れずに行っている	A	69%	66%
	B	26%	24%
	C	3%	7%
	D	2%	3%
やわらかな言葉使いができています	A	20%	23%
	B	46%	50%
	C	29%	23%
	D	5%	4%
自分から進んで家庭学習をする	A	29%	32%
	B	35%	38%
	C	28%	23%
	D	8%	7%
本を読むのが好きだ	A	33%	31%
	B	22%	27%
	C	30%	31%
	D	15%	11%
家庭学習(宿題を含む)をしている <15分×学年>	A	52%	50%
	B	31%	36%
	C	14%	11%
	D	3%	3%

### 児童自己評価

A・・・そう思う B・・・だいたいそう思う  
C・・・あまりそう思わない D・・・そう思わない

		前期	後期
すすんであいさつできている	A	42%	52%
	B	39%	34%
	C	15%	11%
	D	4%	3%
学校でほめられている	A	20%	20%
	B	40%	41%
	C	33%	31%
	D	7%	8%
家でほめられている	A	34%	35%
	B	34%	35%
	C	25%	21%
	D	7%	9%
外で元気に遊んでいる	A	67%	66%
	B	22%	22%
	C	7%	9%
	D	4%	3%
早く寝ている ※21時(低学年)21時半(中学年)22時(高学年)	A	33%	29%
	B	27%	26%
	C	20%	19%
	D	20%	26%
早く起きている ※朝7時までに起きる	A	60%	55%
	B	25%	26%
	C	11%	11%
	D	4%	8%
毎日、朝ごはんをたべている	A	86%	87%
	B	8%	7%
	C	4%	4%
	D	2%	2%
学級は楽しい	A	61%	64%
	B	28%	30%
	C	8%	5%
	D	3%	1%
シングがになったら教室にもどって席についている	A	62%	64%
	B	28%	30%
	C	8%	5%
	D	2%	1%
やわらかな言葉づかいができています	A	28%	27%
	B	42%	45%
	C	23%	21%
	D	7%	7%
授業がよくわかる	A	42%	45%
	B	39%	37%
	C	15%	12%
	D	4%	5%
本を読むのが好きだ	A	57%	56%
	B	21%	21%
	C	13%	13%
	D	9%	10%
家庭学習(宿題)をしている <15分×学年>	A	66%	66%
	B	19%	19%
	C	10%	11%
	D	5%	4%